

じゃんぽ!



先週の金曜日は、たいよう組さんとお別れ会でした。会の中では、今までたくさん遊んでくれたたいようさんに対して感謝の気持ちを話しました。Aさんは、寂しさのあまり、涙する心優しい姿も見られ、思わず私も気持ちがこみ上げてきました。優しくしてもらった経験が、“自分たちも優しくしてあげよう”という気持ちにつながります。

幼稚園の畑でジャガイモの種を植え、春の準備をしました。種芋を切るところも子供たちと一緒にやりました。芽からよきによきと次のジャガイモが出てくることを知ったり、灰をつけて腐るのを防ぐことを知ったりなど、初めて知ることばかり。いつも給食で美味しく食べられる訳は、育てる人の苦勞と愛情の元にできるということを感じました。100個あった種を全部植えることができました。さて、今年はどうくらい収穫できるかな?楽しみです。



首を長〜くして待ち望んだ生活楽しみ会は、いかがでしたでしょうか。感想用紙に保護者の皆様から、いろいろな感想をいただけることを楽しみにしています。

当日を迎えるにあたって、子供たちはドキドキワクワクの毎日でした。

1 学期から遊んでいた段ボールの家が、へんしんトンネルへと変身したり、「こうすると、楽しそうに見える!」と自分たちで考えてみたりなど、子供たちがイメージを

膨らまし、お話の世界を楽しむ様子がとてもかわいらしく、私も一緒に遊んでいく中で、“次はどんな展開が待ち受けているのか!”とワクワクしました。しかし、一方で、楽しいだけではない時もありました。正直に、「劇ごっこ嫌だなあ。」と思ったことがある子もいました。でもそんなときに、投げ出さずに乗り越えてきた姿がありました。それは、友達の楽しそうな姿をみて自分のやってみようと思いを奮い立たせたり、友達から励ましたりしてもらいました。そんな心の支えが、きつともやもやした気持ちに向き合うことができたきっかけになったのではないかと思います。

なつめ組も、いよいよあと一週間で終わりです。進級することに喜びを感じながら、みんなで過ごす残り僅かの日にちを存分に楽しんでいこうと思います。

